

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 健康保険課 シート No. : 16 作成日： 2026.5/7

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 生涯にわたり市民の健康を守り、育む	法改正により県後期高齢者医療広域連合が行う高齢者保健事業は介護予防と一体的に行うことが示されたため、当市では令和5年度より、後期高齢者医療の保険者である茨城県後期高齢者医療広域連合から委託を受けて事業を開始しています。 実施にあたっては、保険者との調整を行う健康保険課と、事業内容を計画し実施する保健推進課、高齢福祉課が連携しています。市が抱える健康課題を、企画調整を行う医療専門職が分析し、既にリスクが高い状態にある方へ働きかけるハイリスクアプローチと、集団全体に働きかけて将来的な効果を期待するポピュレーションアプローチにおいて、それぞれ実施内容を選択し行うことで、健康寿命の延伸や重症化予防へ繋げ、増大する医療費の抑制を目的とします。	高齢者の身体的精神的及び社会的な特性を踏まえ、保健事業と介護予防を効果的かつ効率的で、高齢者一人一人の特性に応じた保健事業と介護予防を一体的におこない、健康寿命をのばすことを目指します。
	施策	1 保健		
	施策内容	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	高齢者の医療の確保に関する法律		
事務事業名		高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 7 予算額	R 7 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 7 活動・事業内容	指標（単位）	R 7 目標値	R 8 目標値		
			R 7 実績値	R 9 目標値		
ハイリスクアプローチ（R7） 【保健推進課】	2年間医療・健診等の受診歴がない健康状態が不明な高齢者の状態把握及び必要なサービスへの接続	対象者数（人）	109	—	102 千円	10 千円
			73	—		
ポピュレーションアプローチ（R7） 【高齢福祉課】	介護予防教室における健康教育、健康相談、フレイル状態の把握	参加者数（人）	1,900	1,900	173 千円	13 千円
			2,101	1,900		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 7 実績値
1人あたりの医療費	前年度より減少	前年度比減（R5→R6）

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
10月に状態が不明な高齢者へ電話連絡を行い、健康状態を確認し、かかりつけがない方やしばらく健診を受けていない方には健康診断の受診勧奨を行いました。電話連絡がつかない方も多かったため、アプローチの方法を検討していく必要があります。 10～12月の3か月間で健康教育としてフレイル講話を実施しました。フレイル予防体操の自宅での取組状況を評価指標とした結果、48.5%の方が自宅で行っていることが明らかになりました（評価対象は9会場、103人）。一方で、約52%の参加者が自宅で行っていないため、その方へのアプローチを検討する必要があります。	☐ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性 ハイリスクアプローチの方法を電話連絡のみでなく、訪問や手紙での連絡等を取り入れることも検討していきます。 ポピュレーションアプローチにおいては、フレイル予防体操がもたらす効果を理解してもらうために講話内容の見直しを行います。今回挙手制で評価を行ったので紙媒体を検討するなど評価方法を見直します。			